



# 吸入薬で炎症をコントロール



子どもの頃にぜんそくにかかり、  
現在も時折ぜんそくの症状に悩まされるという  
タレントの優木まおみさん。  
最近、ぜんそく治療に取り組み始め、  
真剣にぜんそくに向き合うことを決意した優木さんが、  
大人のぜんそくについて、大道内科・呼吸器科クリニック院長・  
大道光秀先生と語り合った。



## 気管支の炎症は続くため 症状なくとも治療の継続を

**大道** 優木さんは、最近ぜんそく  
の治療を始めたそうですね。

**優木** はい。子どもの頃からぜん  
そくがあり、一旦治まりかけたの  
ですが、学生の頃に症状を悪化さ  
せてしまい、その後は具合の悪いと  
きだけ治療して、何とか乗り切っ  
てきたという感じです。症状が出  
たときだけ、薬を使うのではいけ  
ないそうですね。



**大道** 例えば高血圧の薬は、高  
血圧そのものを治すのではなく、高  
血圧の状態を放置しておくこと  
血管や心臓に負担がかかり、深  
刻な病気に陥る可能性があるた  
め、血圧のコントロールを目的に  
服用します。ぜんそくも同様です。  
吸入薬を毎日使うことで、ぜんそ  
くの原因である気管支の炎症を  
コントロールし、症状が出ること  
や炎症が悪化することを防いで  
いるのです。

**優木** 私も治療を始めたところ、  
調子がよくなったので、吸入を忘  
れかけたのですが、歯磨きするとき

と一緒に吸入することで習慣化で  
きました。

**大道** 調子がよくなると、治療を  
中断してしまう人もいますが、症  
状がなくても気管支の炎症は続  
いているということを忘れないで  
ほしいですね。



## アレルギー反応もきっかけに ペットやダニに注意

**優木** 私は子どもの頃からぜん  
そくだったので、大人になって  
初めてぜんそくになる方も多いそ  
うですね。

**大道** 大人からの発症は増えてい  
ると感じますね。最近では「風邪  
が治らなくて、せきが続く」といっ  
て来院される方が多いのですが、  
詳しい検査をすると、せきばかり  
が出るせきぜんそくだったり、せき  
が優位のぜんそくだったりという  
ケースが増えていて、ゼイゼイ  
ヒューヒューとなるぜんそくは少  
ない印象です。最近はペットを室内  
で飼ったり、家の気密性が高いた  
めにダニが増えたりしてアレル  
ギー反応を起こしやすくなり、そ  
れをきっかけに発症する方も多い  
ようです。

**優木** 働き盛りの方にも発症す  
るケースは多いのですか。

**大道** 仕事のストレスなども発症  
のきっかけになりやすく、ビジネス  
パーソンの中には出張先のホテル  
などで、症状が出てしまう方もい  
るようです。優木さんは治療を始  
めて具合はいかがですか。

**優木** 以前は階段を上るときも  
つらいと感じることが多かったの  
ですが、今はあまり感じなくなり、  
夜もよく眠れるようになりました。  
**大道** 治療を継続することで、症  
状が抑えられるだけでなく、日常  
生活の改善も期待されます。がん  
ばって継続してください。

**優木** 今まではぜんそくだから  
と、あきらめがちだったことにも、  
今後はいろいろな挑戦できそうですね。  
ありがとうございました。

タレント  
優木まおみさん



大道内科呼吸器科クリニック院長  
大道光秀先生

### Profile (おおみち・みつひで)

1981年札幌医科大学卒業、同年札幌医科大学第3内科入局。2001年大道内科・呼吸器科クリニックを開設。日本呼吸器学会(専門医、指導医)、日本呼吸器内視鏡学会(専門医、指導医)、日本感染症学会(専門医、指導医)等に所属。

### Profile (ゆうき・まおみ)

1980年佐賀県生まれ。バラエティー番組や情報番組のMC、女性誌のモデルなどに幅広く出演、最近では報道番組のコメンテーターを務めるなど活躍の場を広げている。2013年結婚、14年第一子出産(女の子)、17年第二子出産(女の子)を経て妻として母として日々成長中。

広 告

企画・制作=日本経済新聞社クロスメディア営業局 提供:グラクソ・スミスクライン株式会社